

ISS 認証取得!!



しみずっ子だより

11月18日 認証式典を晴れやかに開催

『仲間があつての自分』

校長 藍原 万里子

二学期は、しみずっ子の良い所をたくさん見せていただきました。一つに、運動会での子どもたちの姿でした。一つの目的に向かって力を合わせることは、素晴らしい結果を生み出すことを目の当たりに見ることができ、私の宝物となりました。二つ目に、安心・安全な学校づくりに向け、一人一人が意識を高め、積極的に活動する姿がありました。特にヘルメットの着用率が89%を超えました。お陰様で全



インターナショナルセーフスクール認証旗と共に



合意書への署名

発行責任者
清水小学校 校長 藍原万里子
児童数 930名
12月1日現在

校のみんなが力を合わせ、三年ごとのISSの再認証を果たすことができました。どれも仲間がいたからこそ、成し遂げることができたのです。このように、子どもたちの未来は無数の可能性を秘めています。私たち大人は、子どもたちに多くのことを期待します。それは、「夢」「希望」「挑戦」など私たちも持ち続けてきたことを次の世代につなげていってほしいという思いからです。その可能性に向かって羽ばたく新しい年になってほしいと願っています。

また、いよいよ冬休みを迎えます。「年忘れ」という言葉の一言で忘れてしまうのでなく、汗を流して頑張った記憶、辛さを自力で乗り越えた思い出、楽しかったこと、嬉しかったこと、小さいけれど感じた確かな一歩を大切な自分の記憶にしっかりと留めてください。

そして、一年を振り返り、新しい年に向けて、冬休みが自分だけでなく、家族と、そして多くの友だちと充実した楽しい年末年始になりますように。どうぞよいお年をお迎えください。



5、6年生による「しみずっ子元気宣言」の合唱

学校保健委員会

養護教諭 中村 匡見

十一月二十五日に、歯科校医の大橋先生、地域の協力団体等の方々、PTA役員や保護者の方々にご参加いただき、学校保健委員会が開催されました。今年度は「心と体の健康く子どもとのかかわり方」というテーマで、スクールカウンセラーの高野智子先生にご講話いただきました。

子どもが自己肯定感を持てる魔法の言葉「ありがとう」「うれしい」「助かる」を覚えていただきました。子どもに助けを求めるのは、大切なことですが、人によつてはスキルが必要になることでした。

その他、登校しぶり、やる気の出させ方など質問にも丁寧に答えていただきました。詳しくは「学校保健委員会だより」をご覧ください。